

事業所職員からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和2年3月16日

事業所名 富山市恵光学園(児童発達支援センター)

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	12	1	・パーティションを使用し区切ることで必要な空間を作る環境設定を行っている	・部屋、プレイルーム、プールなど大きさは決まっている為、内容に合わせて人数や使える日や時間を決めるなど配慮が必要
	② 職員の配置数は適切であるか	9	4	・職員の勤務状況に応じて、パートが入り、サポートし合っている。	・基準は満たしているものの、個へのより丁寧な支援を目指し、3対1で手厚く見てあげられるよう配慮したい
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	11	1	・子ども達が分かりやすいように、スケジュールで視覚化したり、個々に応じてツールを利用したりしている ・子どもの障害特性に応じ視覚支援や個別の関わりもしている。また、環境も構造化するなどの工夫をしている。(例:スケジュールの予告や手順表など)	
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか	10	3	・プレイルーム遊びは各クラス声を掛け合って活動スペースを共有している ・毎日清掃を行い、清潔にしている。プレイルームは各コーナーに分けて場所を設定するなど活動しやすい環境作りをしている ・業者による室内清掃を年2回行っている	・トイレの排水溝のにおいが気になることがある。来年度、トイレは改修工事がある為、改善されると思う ・清掃に関しては、使い捨てのクイックルワイパーにするなどし、感染症予防に向けて、さらに改善していきたい
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画しているか	9	4	・月末に個別のPDCAの評価シートを記入し、その都度目標について見直しをかけている。 ・なるべく職員全員で時間を作るようにはしているが難しい	・なるべく職員全員で時間を設けるようにしたいが、8:00~17:00は常時お子様を預かっているため、全員では難しい。 ・業務の優先順位や必要性などを今一度見直す必要がある
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向などを把握し、業務改善につなげているか	13		・昨年度も評価を受け、職員で振り返り、一気にではなく、項目ごとに徐々に改善を図っている。	・引き続き、職員が話し合いを行う時間を設けられるよう、当番や会議の予定を計画的に立てる。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	12	1	・ホームページで公開している	
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			・外部評価は行っていない	・外部からの評価を受け、業務や体制を見直すきっかけにすることは、今後必要かもしれない。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	13		・研修の数は多いと思う ・様々な研修の中から希望する研修に参加できる	・研修の報告や学習会を行う時間をとれていないことが多い。短時間で実のある学習会となるよう、学習会の在り方については課題である
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	13		・連絡帳や個別指導で把握するようにしている	・計画の内容を見直す事が不足していたかもしれない。保護者のニーズをしっかりと反映していきたい。 ・お知らせを出したり個別懇談をしたり、今後課題としていきたい
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	12	1	・定期的に遠城寺式発達検査を使用し子どもの状況を把握している ・ポーターズ乳幼児プログラムのチェックリストを使用している	
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	11	2	・ガイドラインの冊子は、必要に応じて、その子の必要な箇所を読むようにしている ・4月の学習会では、まずガイドラインについて学習や読み合わせを行っている	
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	12	1	・支援計画に基づいた支援を行うよう心掛けている	・担当職員以外に全体で把握できるような体制を整える
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	13		・月1回クラス会議を行っている。また療育後、活動の検討や立案の話し合いをしている ・スタッフで話し合い時間をなるべく設けている	
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	13		・その日の人員数によっては固定化された活動になっていたかもしれない。今年度は、他クラスと合同で活動したり、月2回プレイルームで全員で音楽療法をしたりと、交流は図ることが出来た。 ・一人ひとりの発達の特徴を把握したうえで、一日のプログラムが固定化しないよう工夫している	
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	12	1	・今年度より、支援計画の「社会性」の部分で「集団参加」「対人関係」「遊び」に細分化した。	
⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	6	・朝礼後の職員会議もある為、毎日行えていないが職員の配置や役割は話し合っている ・療育前後の職員の役割や行事準備が入ると打合せが出来ないこともあるが、話ができるよう努めている	・話し合い、打合せがスムーズにいくよう書類や時間を工夫したりしてきた。しかしやってみてうまくいかないこともある。勤務スケジュールを見直し、より丁寧な支援になることを目標に、日々の努めていきたい。	

	⑱ 支援終了後には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	9	4	・個々で気付いたことがあれば共有している ・当番以外の職員で行うようにしている ・それぞれの当番がある時、行事前などは振り返りを行う時間がないこともある。なるべく振り返りを行うようにはしている	
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	13		・日々の記録をとり、課題が生じた場合、支援の仕方を検証し、改善につなげるよう努力している	
	⑳ 定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	11	2	・日々のポータル相談や連絡帳で共有し、前期と後期で見直しをかけている	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	13		・相談支援事業の職員が必要に応じて会議に出席している	
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	11	2	・該当する関連機関と個々のケースを通して連携を図っている	
	㉓ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健・医療・障害福祉・保育・教育等の関係機関と連携した支援を行なっているか	12	1	・通園児の関係している期間と連携し、必要な時は、ケア会議にも参加している	・今後医療的ケア児や重心児の受け入れを行うので、関係機関と連携をしっかりとしていきたい
	㉔ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	13		・主治医から意見書や指示書等は、保護者を通して連携をしている	
	㉕ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報提供と相互理解を図っているか	13		・転園、就学の際には、移行支援先やケア会議を行い、情報交換をして共通理解を図っている	
	㉖ 移行支援として小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	13		同上	
	㉗ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	9	4	・児童発達支援協議会で講師を招き研修をしている	・サービスの質の向上に向けて、他の児童発達支援センターと定期的に情報交換したり、実習をするなどの機会を設けたい
	㉘ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	13		・隣接の保育園との交流保育を定期的に行っている。冬場は特に、感染症の拡大防止の為、回数が減ることは多い。 ・交流保育は希望者、逆交流は全員が参加している	・交流の場を増やしたり、決められた回数でも交流の内容を柔軟に変更したりし、子どもたちが互いを意識して交流できるとよい
	㉙ (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	8	5	・地域のこども部会(子ども発達支援ワーキング)を当センターが担当している。また、県のこども部会の取りまとめ役もしている。担当者が参加している ・こども・子育て会議には参加していない	
	⑳ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	13		・毎日バスを利用されている方については連絡帳やポータルで具体的に伝えられるよう努めている ・月1回のポータルで、チェックリストをもとに発達について共通理解ができる機会がある	・連絡帳の形式を変更し、毎日開きやすく、書きやすい、実のある連絡帳にすることは課題 ・懇談会の制度を設けるなどし、もう少し職員と保護者が直接お話しできる機会があればよい
㉑ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行なっているか	11	2	・今年度は年4回、講師を招いて保育参観の時に研修会を行った ・こども発達支援室でのミニ講座についてのお知らせをしている	・引き続き、職員自身がペアレントトレーニングに限らず、様々な知識を得よう自己研鑽に努める	
㉒ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	12	1	・園長から新入園児オリエンテーションにて説明を行っている	・今年度の途中のように、幼保無償化に伴い、年度内でも変更がかかる時がある。毎年、多少の変更がある為、最新の内容をしっかりと周知したい	
㉓ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」びねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	12	1	・令和2年度新入園児からはオリエンテーションにガイドラインの一部を加えた。 ・児童発達支援計画は、説明後にその場で同意を得るのではなく、再度家庭に持ち帰り一読してから同意の署名・捺印を得るよう変更した		
㉔ 定期的に、保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行なっているか	13		・ポータル相談や送迎時になるべく話をできるようにしている ・適切に応じられているかは、保護者から見てどう思われているかによるが、真摯に対応するよう努めている	・直接相談や電話相談等の機会をこちらから設けたり、気軽に受けられるような体制を整える	

保護者への説明責任等	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	13		<ul style="list-style-type: none"> ・月1回、開催しており、様々な活動を通して、保護者同士の連携を支援している ・父親同士の交流や子育ての勉強会の為に、父親参観をつくって勉強会を行った。 ・センターだけでなく、他事業や先輩ママとのつながりなど、なるべく幅を広げて支援できるようにした 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者同士の連携を支援できるよう働きかけることは可能。今後も密に連携できよう努める。 ・職員は保護者や子どもの情報を守ることも仕事の為、寄り添いつつも一線を引きながら支援しているが、それがかえって弊害や不快な思いをさせてしまわないようなことは課題。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者から相談がある時にはすぐにクラス・児発管・園長に相談して対応するようにしている 	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	13		<ul style="list-style-type: none"> ・月1回の園だよりやホームページ、必要に応じてその都度保健や安全のお知らせを出している 	
	③⑧	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	13		<ul style="list-style-type: none"> ・鍵のかかる書庫で保管している ・見学者が入ることもあるが、クラスの掲示物なども平仮名表記にしたり、姓のみ、名のみなどになっている。 	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	13		<ul style="list-style-type: none"> ・言葉の出ないお子さんには、PECSなどを使用し、医師の疎通を図っている ・視覚ツールは多く取り入れている 	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6	7	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度からは、今年度のように「もちつき会」に地域のボランティアさんや製作ボランティアさんに来てもらうことにしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・学園の駐車スペースが限られているため、駐車場の使い方は引き続き課題となる。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	13		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に職員や子どもを含めた各種訓練を行っている ・安全係と保健係でタイアップして事故発生した訓練を行っている ・年1回、隣接保育園と合同の火災避難訓練を消防士を呼んで行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き医療的ケア児の支援のネットワークに参画し、医ケア児の災害時の避難について詳細にマニュアルを作っていきたい
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	13			
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	13		<ul style="list-style-type: none"> ・新入園児オリエンテーションでは看護師と直接話をする時間を設けている ・主治医が記入した指示書を入園前に提出してもらい内容を把握し同意書を得ている ・場合によっては、ドクターやケアマネ、ナースと直接連絡することもある 	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	13		<ul style="list-style-type: none"> ・医師に「食物アレルギー管理指導票」を記入してもらい、アレルギーの有無やアナフィラキシーショックの有無、万が一の対応について職員は把握している。 ・給食スタッフとは密に連携をとっている。 ・アレルギーの程度によっては、手に触れる事のないよう、席を離すなどの対応を行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギー児についての情報は公開しない為、行事などで保護者間でおやつのやりとりをしないようその都度注意喚起が必要。 ・医療的ケアの必要な子もいるため、引き続き、園内研修や重症心障害児の研修に参加するなどして丁寧な支援を行っていきたい
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	13		<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼等で共有している。詳細は回覧で回している為、タイムラグがあることもある 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度様式を変えて、ちょっとしたことでも記入できるようにしたが、共有することがスムーズにできなかった。今後は、各クラスに1冊ずつヒヤリハット集を置いて、月末に回覧するなどして共有できるようにする
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	12	1	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度秋に、知的障害者福祉協会の共催のもと、県外の講師を呼び、学園にて児童虐待防止についての研修会を行った。平日夕方であったが、保護者の方に早お迎えをお願いし、職員全員が参加することができた。 ・園内研修会を設けて、学園としての虐待防止の体制や気付きについての勉強は行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・3月に各指導室、玄関、園庭、プールなどの様子が監視できるカメラを設置した。虐待防止・事故防止につながることもあるが、有事の時には見返すなどし、職員の動きの確認にも利用していく
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	11	2	<ul style="list-style-type: none"> ・新入園児オリエンテーションで、やむを得ない場合には身体拘束を行うことを説明している。また毎日の記録にも記載している 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に説明・了解を得ている。支援計画には今後記載する。 	